

校報 ねどる

岩出市立根来小学校
学校だより No.23
令和3年3月1日
文責：柏木



いざという時、どう動く

阪神・淡路大震災（1995年・平成7年1月17日）から26年。東日本大震災（2011年・平成23年3月11日）から10年が経過しようとしています。和歌山県では、紀伊半島大水害（2011年・平成23年9月2-3日）から今年で10年となります。

記憶に新しいところでは、2018年（平成30年）9月4日、台風21号の被害で部分的に停電となり、大変困ったことを覚えています。暴風の影響で、屋根が損壊してブルーシートに覆われた家をよく見かけました。学校は臨時休業となりましたが、台風一過の翌日、給食が提供できず（停電や断水の影響）午前中だけの登校となりました。

先日（2月13日23時8分頃）、福島県を中心として震度6強の地震がありました。また、2月15日13時28分頃、和歌山市中心に震度4（岩出市は震度2）の地震がありました。

毎年のように、日本（世界）各地で、地震・津波や台風・豪雨による水害などの自然災害が発生しています。自然災害は、いつやってくるかわかりません。そのためにも、「いざという時、どう動くか」が大切となってきます。

学校では、様々なことを想定して毎年、避難訓練を実施しています。今年度は、一学期に不審者対応。二学期には、地震（津波）対応。そして、三学期は、火災を想定しての訓練を実施しました。

子どもたちは、先生の指示をしっかりと聞いて、落ち着いて、素早く、安全に気をつけて行動できていました。学校での避難場所は、運動場になります。ただ、3回とも授業中に発生したという想定での実施でした。実際には、休憩時間にこのようなことが起こる場合もあります。また、登下校中や家にいるとき、遊びに行ったとき等、それぞれの場合の行動の仕方や判断は自分自身になることがあります。

すでに、各ご家庭でも話し合っていると思いますが、「〇〇の時」に「不審な人に出会ったら」「地震が発生したら」「火災を発見したら」等、どのような動きをすればいいのか、子どもさんと話し合っ確認していただければと思います。

我が家でも、大地震が発生して自宅が危険な状況の場合は、近所の「〇〇学校」に避難すること。と数年前に確認しましたが、それに加え、何を持ち出したらいいのかなども改めて確認する必要があると感じています。

震災を経験した東北地方では、前回の教訓を活かして、素早く、安全に行動できていたそうです。私たちも、日頃からの備えをしっかりとすることが大切です。併せて、現在も私たちの生活に大きな制限をもたらしている、新型コロナウイルス感染症についても、「感染源を絶つこと（検温と健康観察、発熱時の自宅待機等）」、「感染経路を絶つこと（手洗い、咳エチケット、マスクの着用）」、「抵抗力を高めること（休養と適度な運動、基本的な生活習慣）」の徹底に取り組んでいくことが必要です。引き続き、ご協力よろしくお願いします。

ボランティアさんやゲストティーチャーとの結びあい、学びあい、支えあい



5年・ミシン縫い



4年・琴の体験授業



3年・むかしの道具



1年生むかしの遊び体験（けん玉・竹とんぼ・こま回し）



6年・♪のラミガ



根来文化祭



学校運営協議会

根来保育所年長さん、小学校体験(1年生との交流)



根来保育所の年長児が、小学校に体験入学しました。1年生のお兄さんお姉さんは、校内を案内したり、学校の勉強をやさしく教えてくれました。